

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成 22 年 3 月】

■調査概要

- 調査期間：平成22年4月1日～4月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送によるアンケート調査
- 回収状況：建設業19企業、製造業23企業、卸売業17企業、小売業23企業、
飲食業17企業、サービス業（運輸、不動産仲介業を含む）40企業
合計企業142企業
- 調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価状況
向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

前月に続き業況DI、水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲37.8)よりマイナス幅が15.3ポイント縮小して▲22.5となった。サービス業を除く業種でマイナス幅が縮小した。

○全産業合計の水準DIは、前月(▲45.0)よりマイナス幅が13.3ポイント縮小して▲31.7となった。建設業、製造業、卸売業、小売業、飲食業でマイナス幅が縮小した。逆にサービス業でマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

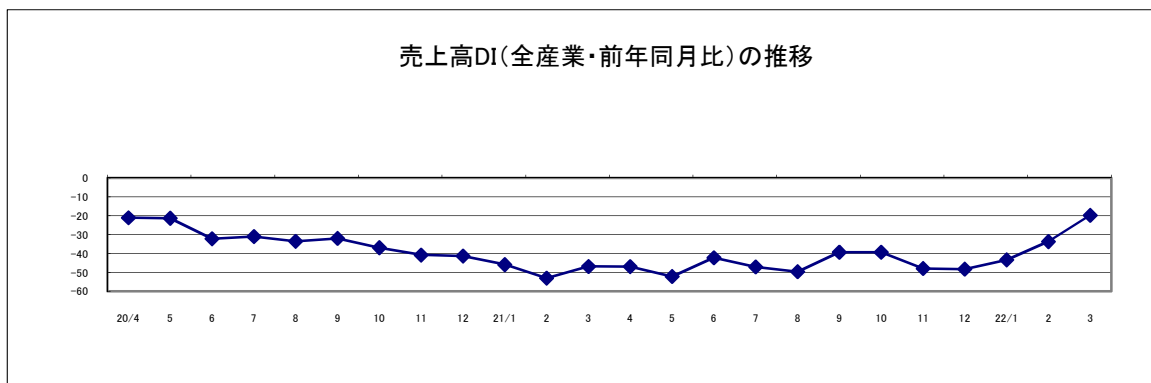
	業況(前年同月比)				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	11.3 (8.6)	54.9 (45.0)	33.8 (46.4)	▲22.5 (▲37.8)	6.3 (6.4)	55.6 (42.1)	38.0 (51.4)	▲31.7 (▲45.0)
建設業	10.5 (6.3)	52.6 (50.0)	36.8 (43.8)	▲26.3 (▲37.5)	5.3 (0.0)	63.2 (56.3)	31.6 (43.8)	▲26.3 (▲43.8)
製造業	17.4 (13.0)	43.5 (30.4)	39.1 (56.5)	▲21.7 (▲43.5)	13.0 (8.7)	52.2 (34.8)	34.8 (56.5)	▲21.8 (▲47.8)
卸売業	35.3 (25.0)	29.4 (37.5)	35.3 (37.5)	0.0 (▲12.5)	5.9 (6.3)	52.9 (50.0)	41.2 (43.8)	▲35.3 (▲37.5)
小売業	7.7 (3.6)	73.1 (57.1)	19.2 (39.3)	▲11.5 (▲35.7)	7.7 (3.6)	57.7 (46.4)	34.6 (50.0)	▲26.9 (▲46.4)
飲食業	0.0 (0.0)	64.7 (27.8)	35.3 (72.2)	▲35.3 (▲72.2)	0.0 (0.0)	52.9 (27.8)	47.1 (72.2)	▲47.1 (▲72.2)
サービス業	5.0 (7.7)	57.5 (53.8)	37.5 (38.5)	▲32.5 (▲30.8)	5.0 (12.8)	55.0 (41.0)	40.0 (46.2)	▲35.0 (▲33.4)

()内は前月データ

2. 売上高DI(前年同月比)

○全産業合計の売上高DIは、前月(▲33.6)よりマイナス幅が13.9ポイント縮小し▲19.7となった。

○業種別に見ると、建設業、製造業、卸売業、小売業、飲食業でマイナス幅が縮小し、逆

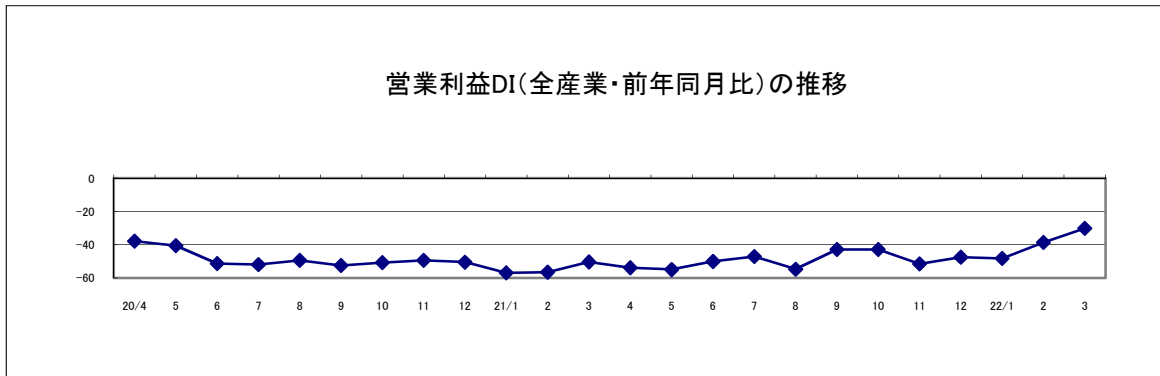


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
全 体	▲46.9	▲52.1	▲42.2	▲47.1	▲49.6	▲39.3	▲41.2	▲47.9	▲48.2	▲43.3	▲33.6	▲19.7
建設業	▲50.0	▲29.4	▲27.8	▲26.3	▲46.7	▲40.0	▲17.7	▲16.7	▲33.3	▲52.6	▲37.5	▲26.3
製造業	▲40.9	▲70.8	▲58.3	▲55.0	▲61.9	▲36.3	▲54.6	▲45.5	▲54.1	▲50.0	▲39.1	▲13.1
卸売業	▲57.9	▲70.0	▲64.7	▲61.1	▲52.6	▲75.0	▲58.8	▲63.2	▲50.0	▲5.9	▲6.2	0.0
小売業	▲42.3	▲57.7	▲19.3	▲34.6	▲37.0	▲48.0	▲22.2	▲50.0	▲46.4	▲60.9	▲42.8	▲11.5
飲食業	▲43.8	▲47.0	▲68.8	▲47.1	▲50.0	▲22.2	▲50.0	▲60.0	▲58.8	▲55.5	▲72.2	▲35.3
サービス業	▲47.7	▲40.5	▲34.1	▲55.0	▲51.2	▲29.5	▲45.5	▲50.0	▲47.5	▲35.0	▲15.4	▲27.5

3. 営業利益DI(前年同月比)

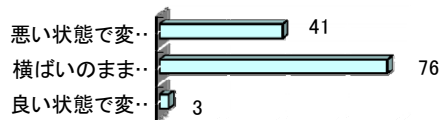
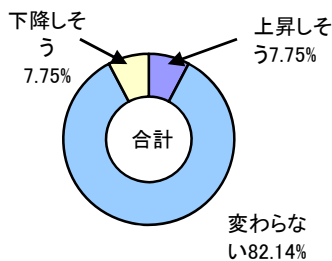
- 全産業合計の営業利益DIは、前月(▲38.6)よりマイナス幅が8.4ポイント縮小し▲30.2となった。
- 業種別に見ると、製造業、卸売業、小売業、飲食業でマイナス幅が縮小し、逆に建設



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
全 体	▲53.8	▲54.8	▲50.0	▲47.1	▲54.6	▲42.9	▲48.9	▲51.4	▲47.5	▲48.2	▲38.6	▲30.2
建設業	▲77.8	▲58.8	▲44.4	▲31.5	▲53.3	▲53.3	▲64.7	▲33.3	▲44.4	▲68.4	▲37.5	▲52.6
製造業	▲54.6	▲58.3	▲70.8	▲60.0	▲66.7	▲40.9	▲54.5	▲40.9	▲50.0	▲50.0	▲43.5	▲21.8
卸売業	▲68.4	▲75.0	▲70.6	▲50.0	▲68.4	▲56.2	▲41.2	▲57.9	▲43.8	▲5.9	▲6.2	0.0
小売業	▲42.3	▲61.5	▲26.9	▲34.6	▲40.8	▲40.0	▲40.7	▲63.7	▲39.3	▲52.2	▲35.7	▲26.9
飲食業	▲43.8	▲47.0	▲68.8	▲52.9	▲43.8	▲33.4	▲50.0	▲66.7	▲58.8	▲55.5	▲72.2	▲35.3
サービス業	▲47.8	▲40.5	▲39.0	▲52.5	▲55.8	▲40.9	▲47.7	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲35.9	▲37.5

向こう3ヶ月の見通し



平成22年4月～平成22年6月の見通しDIは「上昇しそう」が前月調査に比べ0.82ポイント縮小して7.75%。「下降しそう」が1.54ポイント縮小して7.75%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.2)、製造業(▲4.3)、卸売業(▲5.9)、小売業(0)、飲食業(5.8)、サービス業(0)であった。

➡上昇しそうでは、「ソーラー関連の仕事が出てくる予想」(建築工事)、「例年4月～6月は需要がでる」(布団)、「ゴールデンウィークや修学旅行に期待」(そば)、「増産に伴う設備投資」(機械設計)、「年度替りで新規生徒獲得の大きな時期」(学習教室)、「新規顧客が出てきており、増客も見込んでいる」(自動車整備)

➡下降しそうでは、「材料価格の高騰、受注不安定、海外調達へシフトしている」(プレス加工)、「需要の大幅な減少」

業種別景況

DI君の景況判断



1、建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヶ月の
低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 29.4	▲ 27.8	▲ 26.3	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 17.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 52.6	▲ 37.5	▲ 26.3
受注量	▲ 52.6	▲ 55.5	▲ 47.0	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 42.9	▲ 35.3	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 68.4	▲ 50.0	▲ 36.9
受注単価	▲ 57.9	▲ 77.8	▲ 29.4	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 41.2	▲ 44.4	▲ 38.9	▲ 42.1	▲ 43.8	▲ 57.9
営業利益	▲ 57.9	▲ 77.8	▲ 58.8	▲ 44.4	▲ 31.5	▲ 53.3	▲ 53.3	▲ 64.7	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 68.4	▲ 37.5	▲ 52.6
見通し	▲ 21.0	▲ 5.5	▲ 17.6	11.1	▲ 10.5	▲ 13.3	▲ 13.3	▲ 23.5	▲ 5.6	▲ 5.5	▲ 10.5	6.3	5.2

経営者の目・見方・etc

電気工事

・行政関係の年度末受注が入り一息ついた感じである。しかし、新年度の見通しは全く立たない。

管工事

・天変地異や円高または天候不順など良い事がまるでない。これでは景気もよくなるらない。

建築工事

・多少見積りの案件が出てきたが、契約には至らない。小規模な受注も確保してなんとか凌ぎたいものだ。

鉄工

・景気は悪いのに燃料や材料がジワジワ上昇している上、受注単価は下がってきている。どのように帳尻を合わせれば良いのか頭が痛いところだ。

・建設業界、地域共にこれ以上悪い状況は考えられないというほど悪い感じである。お金を払う側とすれば、なんでも安い方が良いのだろうが、発注者側のモラルを疑いたくなるような価格交渉も目立っている。

2、製造業



【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 54.6	▲ 40.9	▲ 70.8	▲ 58.3	▲ 55.0	▲ 64.9	▲ 36.3	▲ 54.6	▲ 45.5	▲ 54.1	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 13.1
受注量	▲ 54.6	▲ 31.9	▲ 58.3	▲ 75.0	▲ 57.9	▲ 66.6	▲ 31.8	▲ 63.7	▲ 40.9	▲ 50.0	▲ 54.2	▲ 43.5	▲ 13.1
受注単価	▲ 27.3	▲ 40.9	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 36.9	▲ 23.8	▲ 36.4	▲ 41.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 34.8	▲ 30.5
営業利益	▲ 59.1	▲ 54.6	▲ 58.3	▲ 70.8	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 54.5	▲ 40.9	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 43.5	▲ 21.8
見通し	▲ 31.9	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 10.0	4.8	▲ 4.5	▲ 9.1	▲ 22.7	0.0	▲ 16.6	▲ 17.4	▲ 4.3

経営者の目・見方・etc

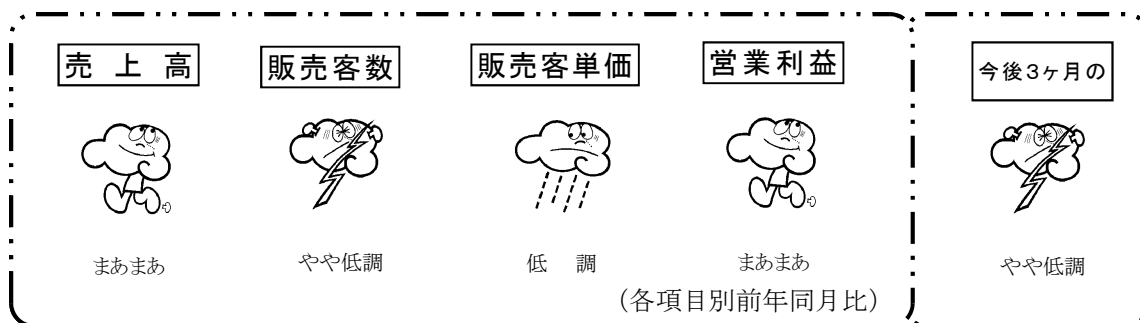
金属塗装

金属加工

菓子

- ・昨年3月比ではリストラ効果のため営業利益面では大幅に上昇したが、従業員あたりの売上は減少となった。単月で見るとまだまだ赤字である。
- ・景気回復の兆しが見えない感じ、3番底に入った見込み。
- ・菓子業界の動きが悪いと言われている中、当社は良かった。しかし、4月から砂糖等の値上げがあり、利益が圧迫されそうである。
- ・例年に比べると需要が落ちてきている感じがする。消費サイクルが長くなってきていて、今まで30日で売れたものが40日くらいかかっている。3月の天候不順と受注具合は予測がつかないという点では似ている。

3、卸売業



【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 68.4	▲ 57.9	▲ 70.0	▲ 64.7	▲ 61.1	▲ 52.6	▲ 75.0	▲ 58.8	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 5.9	▲ 6.2	0.0
販売客数	▲ 31.6	▲ 31.6	▲ 40.0	▲ 23.5	▲ 11.8	▲ 10.6	▲ 25.0	0.0	▲ 5.3	▲ 12.5	0.0	▲ 18.7	▲ 11.7
販売客単価	▲ 31.6	▲ 36.8	▲ 45.0	▲ 35.3	▲ 23.5	▲ 26.3	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 31.2	▲ 29.4	▲ 18.7	▲ 17.6
営業利益	▲ 57.9	▲ 68.4	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 50.0	▲ 68.4	▲ 56.2	▲ 41.2	▲ 57.9	▲ 43.8	▲ 5.9	▲ 6.2	0.0
見 通 し	▲ 15.8	▲ 10.5	▲ 15.0	▲ 17.6	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 18.8	▲ 17.6	▲ 10.5	▲ 6.3	▲ 11.8	0.0	▲ 5.9

経営者の目・見方・etc

鋼材

・原材料高等により1トンあたり5,000円～15,000円の値上げが続いている。来月も値上げのようだ。材料手当てをしていない工事を扱っている業者は大変である。

機械工具

・スポット需要が出てきて良かったが、これも一時的であり先行きの見通しは不明。

金属製品

・昨年は3月から売上げが下降しはじめたため、それと比較すれば今年の3月は良い感じがする。しかし通常の状態までは戻っていない。ただ昨年は5月くらいまで下がり続けていたので、それよりは良い感じで推移している。

木材・建材

・鉄鋼製品の国内需要は依然低迷しており、荷動きの鈍い状況が続いている。また、原材料価格の値上りからメーカーは製品価格の値上げに踏み切らざるをえないため、先行きが不透明な状況となっている。

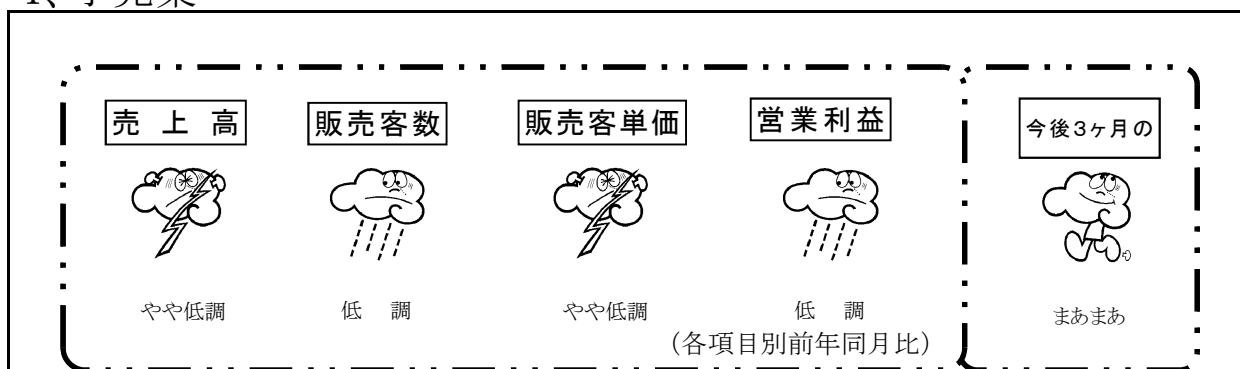
土産品

・期末による駆け込み物件があった。それによりやっと前年並みの実績になった。大型物件は無い状態。小さい物件でも拾っていかなければならない。
 ・4月の山岳観光の幕開けに期待しているが、観光客は今後の高速料金の動向がどのように影響するのか心配しているようだ。良い方向になるよう願っている。

青果

・野菜は天候不順から入荷減の単価高となり販売苦戦となる。果実は苺が入荷減の単価高となるも、全体的には入荷増の単価安だった。4月以降、天候悪化による気温低下と日照不足から定植遅れと肥大不足により入荷減、単価高が続き、不況状態からさらに消費が落ちないか気になるところだ。

4、小売業



【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 19.3	▲ 34.6	▲ 37.0	▲ 48.0	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 46.4	▲ 60.9	▲ 42.8	▲ 11.5
販売客数	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 61.5	▲ 34.7	▲ 28.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 40.7	▲ 63.7	▲ 42.9	▲ 47.8	▲ 35.7	▲ 15.4
販売客単価	▲ 27.0	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 23.1	▲ 24.0	▲ 22.2	▲ 24.0	▲ 18.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 52.2	▲ 17.9	▲ 3.9
営業利益	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 61.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 40.8	▲ 40.0	▲ 40.7	▲ 63.7	▲ 39.3	▲ 52.2	▲ 35.7	▲ 26.9
見通し	▲ 3.9	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 3.9	▲ 7.7	▲ 14.8	▲ 16.0	▲ 25.9	▲ 13.7	▲ 21.4	▲ 13.0	3.5	0.0

経営者の目・見方・etc

住宅機器

・エコポイントの影響を受けて断熱リフォーム商品等が少しずつではあるが動いてきている。

印章

・全般的には寒さが続いて人出が少なく感じた。しかし波田町合併による特需が多少あった。また春休みに伴う観光客や海外からの観光客も多く見かけた。

食料品

・3月は春休みがあったが旅行客などは少なく、思ったより悪かった。

書籍

・官公庁関連の受注があり、売上は伸びた。しかし、個人消費は相変わらず厳しい状況だ。松本プレミアム商品券絡みの動きも一時活発だったが、落ち着いた感じだ。

文具

・スチール製品の需要期が終わると共に繊維製品も春夏物になる。それぞれ単価も下がり、売上も減少する。

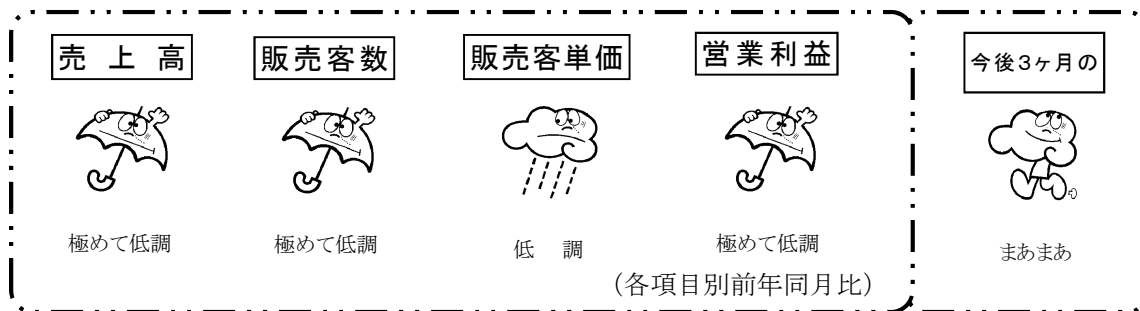
手芸材料

・昨年と比べ、かなり厳しい月であった。月末あたりから少しずつ観光客が増えた感じだが、財布の紐は固い。

化粧品

・プレミアム商品券での利用がかなりあり、ありがたかった。全般的には消費の刺激策に結びついているかどうかは不明。

5、飲食業



【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 53.3	▲ 43.8	▲ 47.0	▲ 68.8	▲ 47.1	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 60.0	▲ 58.8	▲ 55.5	▲ 72.2	▲ 35.3
販売客数	▲ 60.0	▲ 31.2	▲ 29.5	▲ 68.8	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 60.0	▲ 52.9	▲ 55.5	▲ 72.2	▲ 35.3
販売客単価	▲ 53.3	▲ 56.3	▲ 29.4	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 31.3	▲ 11.1	▲ 31.2	▲ 46.7	▲ 47.1	▲ 38.8	▲ 55.6	▲ 29.4
営業利益	▲ 66.7	▲ 43.8	▲ 47.0	▲ 68.8	▲ 52.9	▲ 43.8	▲ 33.4	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 58.8	▲ 55.5	▲ 72.2	▲ 35.3
見通し	6.7	▲ 6.2	▲ 5.9	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 18.7	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 22.2	11.1	5.8

経営者の目・見方・etc

レストラン
カレー

- ・売上は下がっても利益を出す方法を考えなければならない。
- ・暖かかったり寒かったり、気温の変化の多い月で、前半は静かであったが、後半は学生が春休みに入り少し人の流れも出て、まあまあな月となった。来月以降にも期待したい。

中華料理

- ・同業で景気の良い話は聞かない。少くくは良い話があるのではと聞いてみたが、なかなか景気が良いと言うところはない。プレミアム商品券やお花見に期待する。
- ・宴会がある日は店も忙しくなるが、何も無い日は店内はもとより、人通りも少ない。金曜、土曜は比較的良い感じだ。

郷土料理

- ・春休みは例年の盛り上がりがなく、期待はずれであったが、季節的に人の流れは多くなった。プレミアム商品券は大口の使用があり、第一弾発行との金額の違いを大いに感じた。

料理

- ・3月後半は歓送迎会等で活気があったが、相変わらず消費は低調。企業、個人共に飲食の機会が減ってきているようだ。
- ・接待関係の宴席が激減した。3月になれば、4月になればと期待してはいるが、なかなか明るい気分にならない毎日である。

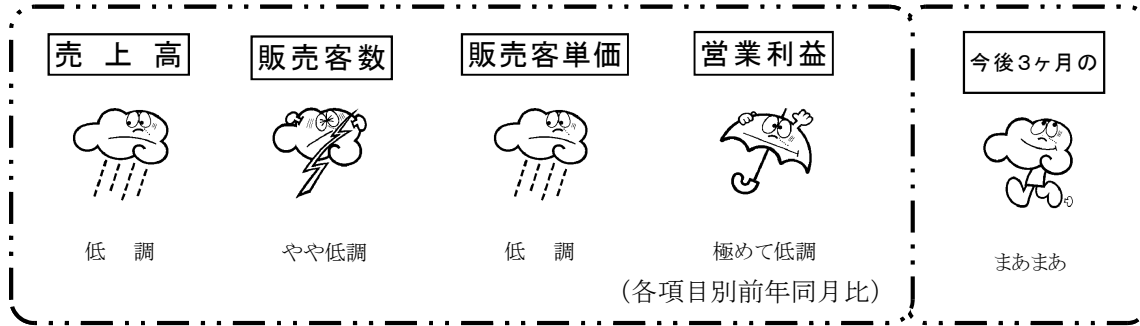
寿司

- ・歓送迎会、新入社員の増加等、新規顧客獲得の大きなチャンスのある時期である。この時期の営業内容が、今後の営業に大きく影響してくるのは明白である。広告販促も含め先を見据えた営業をしたい。
- ・天候不順で3月にしては珍しく雨降りの日が多く、寒い日が続いた。その為か人の動きが悪かったような気がする。それでも3月は卒業式や合格発表、送迎会等の催しがあり、少しは活気があったと思う。プレミアム商品券の利用客も前回よりはかなり増えた。使用期限まではまだまだ時間があるので期待できると思われる。

そば

- ・例年並みに送別会などの予約はあったものの、客単価が毎年低くなっている。客あつての商売なので気長にやっていくしかないのだろうか。

6、サービス業



【項目別DIの推移】

	21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月
売上高	▲ 37.5	▲ 47.7	▲ 40.5	▲ 34.1	▲ 55.0	▲ 54.2	▲ 29.5	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 47.5	▲ 35.0	▲ 15.4	▲ 27.5
販売客数	▲ 35.0	▲ 38.6	▲ 47.7	▲ 41.4	▲ 45.0	▲ 44.2	▲ 27.3	▲ 50.0	▲ 52.2	▲ 42.5	▲ 35.0	▲ 25.7	▲ 7.5
販売客単価	▲ 35.0	▲ 43.2	▲ 31.0	▲ 24.4	▲ 35.0	▲ 30.2	▲ 27.2	▲ 29.6	▲ 34.1	▲ 32.5	▲ 32.5	▲ 20.5	▲ 17.5
営業利益	▲ 42.5	▲ 47.8	▲ 40.5	▲ 39.0	▲ 52.5	▲ 55.8	▲ 40.9	▲ 47.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 35.9	▲ 37.5
見通し	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 9.5	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 2.4	▲ 13.6	▲ 6.8	▲ 15.9	▲ 7.5	▲ 5.0	▲ 2.5	0.0

経営者の目・見方・etc

機械設計

・製造業は忙しいところが多くなってきた。海外からの注文が多く、国内で使用したい部品が間に合わない状況と、変な現象が起きている。

自動車整備

・年度末や車検整備等で忙しい日々が続いたが、月の後半は急激に仕事量は少なくなった。政権交代の影響がこれから出てくるのではと心配される。

ホテル

・宿泊、宴会は昨年並みであったが、婚礼部門がかなり落ち込み全体としては悪かった。

温泉旅館

・売上の推移を見ると平成10年頃より多少上昇した年も数年はあったが、全体的には右肩下がりの傾向が続いているのが現状である。しかしここに来てその傾向が一段と顕著になってきているように感じる。何とかして横這いまでには回復させたい。

タクシー

・売上高の前年比割れが続いているが、3月はその幅が小さかった。しかし燃料価格が上昇してきており、心配である。
・昨年に比べ売上の下降ピッチは鈍化しつつあるものの、未だに底が見えない状況である。例年、歓送迎会シーズンで売上が伸びる時期ではあるが、今年は売上上昇に勢いが無い。

情報関連サービス

・期末需要が戻って来て何とか昨年並みの実績となった。介護施設では施設間の格差が出てきているが、少しずつではあるものの良い方向には向かっているようだ。精密部品工場も動きが出てきたようだ。パソコンは機種切り替えのため、一部部品不足で品切れが出てきている。

税理士

・3月15日で個人事業の申告が終了したが、毎年気になっているのが農業である。稲作をしているところは大半が兼業で農業収入は赤字である。受託する農作業も含め大規模で行っているものの、収入の内訳は稲作収入よりも交付金や助成金の占める割合が多く、そちらで経費を賄っている現状である。

写真

・入札関係の激化が今後起こりそうだ。
・年度末なので、工事関係の写真、卒業、卒園写真の依頼はあり、少し忙しかった。4月はお花見に期待したいので天気が良くなるのを望むばかりだ。

倉庫

・業績の数字は改善しないが、現場の感覚では、確かに景況は上向いている気がする。
・現在は、小売業からのコストダウンの要請が来ていて、需要が下がる傾向が今後も続きそうだ。

マッサージ	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が伸びないのを景気だけの要因にはせず、自社努力をして頑張ろうと思う。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・異動の時期なので新規顧客の獲得を期待していたが、思ったほどではない。また天候が不安定のため、人の往来が少なく感じた。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・3月は卒業シーズンや新社会人が多く来店された月であった。4月、5月、松本に転勤された方などを是非取り込んでいきたい。